

「ものづくりの仕事のしくみと生産性向上」

開催日：令和6年5月30日（木）
開催日：令和7年1月30日（木）

申込期限：令和6年5月9日（木）
申込期限：令和7年1月9日（木）

実施会場：ポリテクセンター延岡
実施会場：ポリテクセンター宮崎

1 | カリキュラム内容

推奨対象者：初任層

ねらい：製造業の業務の流れと各部門の役割について学び、製造業全体の基本的なしくみを理解するとともに、製造現場での仕事に対する考え方、自身の立場や責任を理解し、業務改善の考え方を習得する。

基本項目	主な内容
1 ものづくりの仕事の流れ	(1) 企業の使命と製造業を取り巻く課題 企業について知っておくべき知識を整理し、製造業が抱える問題と解決の方向性を指し示す (2) ものづくりの基本 4つの要素 4つの要素(安全・品質・コスト・納期)について解説する (3) 危険予知(KY)活動とヒヤリ・ハット ・危険予知訓練、ヒヤリ・ハット活動 ・日常点検による安全対策の進め方 【演習】危険予知訓練
2 ものづくり現場の現状と課題	(1) 品質管理の基本 ・品質とは ・品質管理の基本的な流れ (2) Q C 的なものの見方・考え方 ・重点指向と源流管理 ・Q C ストーリーによる問題解決 (3) Q C 7つ道具の活用 ・データで物事をとらえる 【演習】Q C 手法の活用
3 ものづくりに関する業務改善	(1) すべての基本「5 S 活動」の進め方 ・5 S がなぜ必要か ・5 S 活動のプロセス 【演習】5 S ゲーム (2) コスト意識を養う ・基本的な原価構成 ・コストダウンの考え方 (3) スムーズなものづくりのための仕組み ・仕組みを円滑に運用するには ・組織連携の重要性

※受講者の当日のご様子を見て、主な内容を変更・追加する場合がございます。

2 | 講師紹介



辻 剛 (つじ たけし) / 株式会社テクノ経営総合研究所

電機メーカーの生産技術部で設備設計や現場改善に従事。受注生産の仕組み構築やSCM改革等の活動を推進。現在は製造業やサービス業の現場で実践コンサルティングを展開中。一方通行の講義ではなく、対話を通じて理解を深める研修スタイルが特色。

カリキュラム作成のポイント・ひとこと

主に初任者層を対象として、安全衛生管理、品質管理、5 S 活動の推進について解説するカリキュラムです。一方通行の講義ではなく受講者との対話形式で進めることでお互いの意見交換を促進していきたいと考えています。演習に関しては、個人ワークを中心に興味を持って参加いただくことをねらいとしています。